



よこすか市議会だより

YOKOSUKA CITY COUNCIL

〒238-8550 横須賀市小川町11番地 ☎046(822)9394 [市議会議会局議事課]

横須賀市議会

検索



pd-ccs@city.yokosuka.kanagawa.jp

No. 44

令和4年(2022年)
4月29日号

発行 横須賀市議会
編集 広報広聴会議



3月2日に実施された内覧会の様子



4月1日に開所した総合的な子育て支援拠点施設「すくすくかん」

補正予算・新年度予算を審議、可決

12月臨時議会

12月27日に臨時議会を開催しました。内容は、国が実施する子育て世帯への臨時特別給付金の関連経費の補正予算議案です。提出議案の説明を聴取り、審議の結果、全会一致で可決しました。

1月臨時議会

1月24日にも臨時議会を開催しました。内容は、新型コロナウイルス陽性者の発生状況を早期に把握し、クラスター発生を防ぐため、高齢者・障害者施設などへ抗原簡易検査キットを配布するための補正予算議案です。提出議案の説明を聴取り、審議の結果、全会一致で可決しました。

3月定例議会

3月定例議会は2月14日～3月24日の期間で開催しました。主に市長から出された令和4年度の施政方針とそれに伴う予算を審議する定例議会です。

市長は、「YOKOSUKAビジョン2030」「横須賀再興プラン」の計画初年度として確実な一歩を踏み出すとし、令和4年度の一般会計、特別会計、企業会計を合わせた予算総額は3,154億円、うち一般会計は、1,574億円という予算案を提示しました。これに対し、各会派は代表質問を、無党派議員は個人質問を行い、市長などの考えを問いました。本会議にて賛成及び反対の討論があり、令和4年度予算案は賛成多数で可決しました。

また、「横須賀市子どもの権利を守る条例」の議員提出議案については、提案理由の説明を聴取り、その後、反対の討論がありました。採決の結果、賛成多数で可決しました。(3面に関連記事掲載)

子育て支援拠点施設「すくすくかん」の運営方法を審査



横須賀市職員厚生会館をリノベーションし、既存施設の集約統合や新たな機能を付加し、総合的に子育てを支援する拠点を令和4年度から開所した「すくすくかん」の運営方法等について質疑を行いました。

主な質疑

問「すくすくかん」には、上町保育園と鶴が丘保育園を統合拡張した中央子ども園、病児・病後児保育センター、一時預かり保育室、ファミリー・サポート・センター、子育て支援センター(愛らんどよこすか)が入ります。

答 すべての公立保育園で積極的に受け入れており、中央子ども園においても同様に受け入れる。

問 病児・病後児保育センターへの看護師の配置状況は。

答 常設1名と利用人数に応じて配置している。

問 中央子ども園において、医療的ケア児の受け入れはできるのか。

答 中央子ども園において、医療的ケア児の受け入れはできるのか。

問 消防計画に基づき、月に1回訓練を実施することが定められている。

答 消防計画は予定しているか。

「犯罪被害者等基本条例」施行に伴う新たな支援について質疑

議員提案で制定した横須賀市犯罪被害者等基本条例が令和4年4月1日に施行されることに伴い、被害者等への支援策として見舞金の支給、家事・介護支援、一時保育支援、転居支援、緊急避難場所の提供、カウンセリング、法律相談が予算計上され、質疑を行いました。

主な質疑

問 性犯罪の被害者を支援対象にする場合、警察を通じて事前に見舞金制度を紹介し、最小限の手続きのみで支給できるようできないか。

答 今要綱を整理し、基準の精査をしているところ。何度も被害状況を聴くことがあつてはならない。警察とも連携し、負担にならないようにしたい。

問 条例制定の際にも議論があつたが、支援を受けるに当たって、警察への被害届の提出・受理を条件としたのはなぜか。

答 被害届の受理を条件としているのは、予算を伴う被害者等への支援のため。公費を支出するのである程度犯罪と判断された事件について対応するべきと考えた。

問 「刑法犯罪ではなくても性暴力は犯罪である」という市民感覚に寄り添った取組をしてほしい。

答 条件を付しているのはあくまで予算を伴う支援であり、それ以外に対応しないということではない。広く相談にのり、他の制度の活用も含めて対応していく。



動物愛護基金による動物愛護センター別棟新築工事について審査

動物愛護センターに別棟を新設し、猫の飼育・譲渡スペース、譲渡会等を開催する多目的スペースの拡充等を行い、収容動物の飼育環境の充実と譲渡の推進を図る予算について質疑を行いました。

主な質疑

問感染症を持つ猫の管理及びストレスがたまるなどいようにするための対策は。

答感染症を広げないよう検査を行い、病気があれば既存の施設で管理する。新設する別棟の譲渡スペースには譲渡できる猫を入れるが、全てではなく、相性の良い猫同士を入れることになる。

問コロナ禍において受け入れる動物の増加傾向はあるか。

答受け入れる動物は減っているが、ペット需要は納税を活用します。今回

歴史や文化・スポーツを生かしたにぎわいの再興について審査

ティボディエ邸の開館によって「ルートミュージアム」が本格化しました。市内に点在する歴史、文化、自然豊かなスポットをルートで結び横須賀全域を大きなミュージアムとして捉えた「ルートミュージアム」です。ティ



ルートミュージアムのロゴ

主な質疑

問観光事業として稼ぎ、

猿島公園のトイレ新築工事の契約変更を審査

伸びており、今後は高齢者が飼えなくなることで等により受け入れが増えることもあると考えている。

問動物を含めた命の大切さを伝える啓発等は行っているか。

答現在ではコロナ禍の影響で実施できていないが、小学校で劇などを通して命の大切さを伝えるとともに動物を飼うときの注意等を啓発している。また、夏休みに体験教室を行い、動物とのふれあいや動物愛護センターの仕事見学を行っている。



猫の飼育・譲渡スペースイメージ

都市整備常任委員会では、猿島公園に新たに設置される予定であるトイレの工事請負契約の変更契約に係る議案について、多くの質疑が行われました。当初、総額で約3億円かかると説明のあった案件について、昨年9月定例議会で施工方法等の見直しで約7千万円削減された契約議案を議決していました。その後当初想定以上に地盤が軟弱であったことに加え、波の影響が大きく、十分なスペースが確保できないことから、工事の進捗が遅れ工程の見直しが必要になり、コンクリート打設回数や資機材の運搬回数が増えたことなどで、

主な質疑

問現場が猿島であり、通常の陸の工事とは性質が

約4千万円を増額する変更契約議案が提出されました。委員からは、今回のように変更議案があ

がてくる工工期も計画通りに進まなくなってしまうため、挑戦を恐れずとにかくやってみようという気持ちを大切にしつつ、事前の調査はしっかりと行う姿勢を大事にしてほしいとの意見も出されました。また、委員会においては賛成の、本会議においては反対の討論がありました。採決の結果、賛成多数で可決しました。

るものの、食やグルメ、インスタ映えといったものが人気で、文化や歴史を

コミュニティコンダクターの役割について確認

地域とともに活動したい意欲のある企業や学生と町内会・自治会をマッチングして地域活動を支援する「コミュニティコンダクター」の登録制度を創設することが、新年度予算で提案され、その内容について確認しました。

主な質疑

問コミュニティコンダク

ターを担う方の想定はあるのか。

答青年会議所や庁内の関係部署と連携して、地域活動に意欲のある方を紹介いただくなど、いくつかの団体は候補として把握している。

問そこに住んでいる人たちで成り立っている町内会は、外部の方が入る事を敬遠するケースもある

「よこすか野菜」の魅力発信事業を審査

横須賀市内で生産される野菜や果物のイメージアップのためPR活動や販売促進事業を実施し、首都圏における販売機会の拡大や消費者が集まる場所に出向いての直売会を実施しています。さらに、友好都市が開催する物産展やイベントにも参加するなど多岐に渡って

主な質疑

問PRについては、野菜

と思うが、そういった中でどのようなことを行っているのか。

答イベントであれば、企画段階からコミュニティコンダクターに参加してもらったり、また、すべて自分たちで準備、運営するのはなく、できる

問そこに住んでいる人たちで成り立っている町内会は、外部の方が入る事を敬遠するケースもある

異なる。事前にみなと振興部に確認しておけば安全監視船の必要性の見通しが立ったのではないか。

答そのとおりだった。

問仮設通路については来訪者が砂浜を歩いて迂回するに当たって波の影響を受けるかどうかのシミュレーションは事前にできたのではないか。

答そこまで思い付かなかった。

問設計変更は事業者負担にならないか。

答負担にはならないように、係る費用を適正に見積もり、明確な設計変更



トイレ設置予定地

こと、特殊な運搬が増えたこと、また、日本遺産認定により施工箇所が限られて施工条件が変わったことなどがあるが、技術を伝えるという面でも、過去の実績や経験を活かす必要はあった。職員間の調整が足りなかった。

問今後は来訪者を増やしていくための努力をしてほしい。全庁をあげて取り組むとともにその旗振り役として環境政策部に覚悟を持ってお願いしたい。

答猿島は観光の核であると認識している。さらにプラスにしていける努力を今後もしていきたい。

実施しており、令和4年度から生産者と小学生の交流を通して農業や「よこすか野菜」への理解を深める取組を新たに行うと新年度予算での提案がなされ審査を行いました。

答メディアへの発信の予算を提案しており、そこでは野菜だけではなく、生産者のプロフィール、その畑の景色などを発信し、頑張っている生産者をメディア等にPRしていきたい。

問生産者と小学生の交流について、授業で行うとのことだが、授業参観を可とするなど保護者が一緒に話が聞けたら効果があがるのではないか。

答総合的な学習の授業での実施にて調整している。意見を踏まえて教育委員会と協議をしていくが、総合的な学習の中で授業参観があるのであれば、検討していきたい。

横須賀市子どもの権利を守る
条例を制定

条例の内容はこちら➡

わが国では、子どもへの虐待やいじめ、あるいは子どもの貧困など、様々な問題があり、多くの子どもたちが犠牲になっている現状を踏まえ、本市議会としても条例制定に向け、令和2年12月に子どもの権利検討協議会を設置しました。有識者との意見交換や他都市の事例、また児童養護施設の視察なども含めて協議を行いました。令和3年11月には市民との懇談会を開催し、多くの市民意見をお聞きすることで条例策定の参考にさせていただきました。条例には「子どもが安心して生きる権利」などの基本的な子どもの権利や「虐待及び体罰の防止」、「障害のある子どもへの支援」などが規定されています。

前文には、「子どもが、保護者の愛情のもとに育まれ、地域や学校など多くの関わりの中で人間として成長していく。この条例は、それを見守り、支えるために、子どもの権利を明記し、子どもに関わる大人や組織が果たす役割を定め、全ての市民がそれを実践するための指針となるべきもの」とあります。その子どもにとって最も望ましい生き方が尊重される社会の実現を、本市全体で取り組む決意が示された条例を制定することができました。本条例は、令和4年7月1日から施行されます。

横須賀市の未来像
「YOKOSUKAビジョン2030」を策定

現行の基本計画は、2021年度末（令和3年度末）で終了しました。新たな基本構想・基本計画を策定する特別委員会は、パブリックコメントの結果や総合計画審議会での議論など、策定状況の報告を受けながら、これまで延べ17回の会議を開き審査を進めてきました。

今回の策定において、小中高生を対象としたアンケートの実施やワークショップの開催など、未来の横須賀を担う若い世代から多くの貴重なご意見をいただいたことは、大変有意義で参考になりました。

議決にあたり委員会としては、次のような意見を申し添えました。

- ①多くの市民にこのビジョンを見ていただけるよう周知方法を工夫するとともに、積極的な情報発信に努められたい。
また、市民がこのビジョンに共感し、横須賀のまちづくりに一緒に協力したいと思っていただけるようにするため、このビジョンに込められたまちづくりに対する市の想いがしっかりと市民の心に届くよう伝え方にも配慮されたい。
- ②職員の縦割り意識を一掃するとともに、部局間の連携をより一層推進し、オール横須賀の精神を忘れることなく、このビジョンに掲げる理想のまちづくりを実現されたい。

これらを含めた5つの意見に留意するよう、執行部に対して強く要望しました。新たな未来像をぜひご覧ください。

「YOKOSUKAビジョン2030」の詳細はこちら➡



常任委員会の所管を変更

更なる業務の円滑化と効率化をはかるため、令和4年度行政組織改正が行われました。これまでの部局に3部を新設し、6部を廃止、1部を民政局に編入します。

新たに「福祉こども部」を新設し、子どもから高齢者まで一体的に福祉の増進を図り、それら関連する部局を統括する「民生局」を設置しています。また、生活環境の保全や循環型社会の形成等、環境行政を総合的かつ一体的に推進するために「環境部」を、インフラ系の業務を整理統合する「建設部」を新設することとなりました。

市議会においても、この組織改正に伴い、関連する委員会を、教育福祉常任委員会から「民生常任委員会」に、生活環境常任委員会から「環境教育常任委員会」に名称をそれぞれ変更し、審査を行います。また、組織改正に対応し、十分な審査を行えるよう、所管の一部を改めます。

3月定例議会 代表質問・個人質問

発言通告の全文はこちら➡

自由民主党 山本けんじゅ 	①本市の財政・公共施設の適正化・組織改正について ②権限移譲・スマートシティ構想について ③浦賀の再生及び住友重機械工業跡地の活用について ④追浜駅前再開発事業・YRPとの連携について ⑤企業誘致及び企業の活性化について ⑥サイバーセキュリティについて ⑦スポーツ大会及び合宿の誘致について ⑧ネーミングライツ・国際観艦式について ⑨横須賀美術館の新たな活用について ⑩ブルーカーボン事業・横須賀港の在り方について ⑪防災・消防技術の維持向上と施設管理について ⑫スクールコミュニティを通じた世代間交流について ⑬放課後児童クラブ・保育園の在り方について ⑭主権者教育について ⑮人権問題・人権啓発週間について ⑯指定管理者制度について ⑰人材確保について ⑱基地について ⑲小栗上野介忠順生誕200周年に向けた取組について
よこすか未来会議 加藤ゆうすけ 	①部局再編の効果の測り方 ②FM戦略プラン見直しと学校施設再編の連携 ③浦賀ドックの活用 ④高齢者福祉施策の関係者間の情報共有円滑化 ⑤在宅勤務などの柔軟な働き方の保障 ⑥ジェンダー平等（ポジティブアクション、クォータ制） ⑦市役所の知的障害者・精神障害者の就労促進 ⑧待機児童対策の一層の推進 ⑨児童の放課後の在り方 ⑩若者政策（子ども若者の意見聴取、若者会議の設置） ⑪困難な状況にある子どもの権利擁護 ⑫時間外在校等時間月100時間超え教職員ゼロを目指して ⑬GIGAスクール構想のさらなる展開 ⑭特別支援学級への教員配置の在り方 ⑮社会福祉協議会との役割分担、人事交流・人材育成 ⑯思春期保健対策・包括的性教育の推進 ⑰津波・豪雨対策・災害時の人権及び公衆衛生 ⑱自然を活用した環境学習の拠点づくり ⑲気候変動対策（ZEB・再エネ・グリーンインフラ等）
公明党 石山 満 	①YOKOSUKAビジョン2030について ②（仮称）「ご遺族サポートデスク」の開設について ③公園墓地事業について ④古い市営住宅の住環境を改善する修繕について ⑤犬や猫へのマイクロチップの装着について ⑥保育園入園児の利用調整について ⑦特色ある付加価値を持たせた学童保育について ⑧子ども食堂の支援について ⑨子宮頸がんワクチンの積極勧奨再開について ⑩長浦倉庫群と引き込み線の保存と活用について ⑪自治体におけるAI技術の活用について
日本共産党 大村洋子 	①保健師の地区担当制導入歓迎。多職種連動型相談体制を ②グローバル気候アクションと連帯してゼロカーボン推進へ ③同意なき性行為は人権侵害。幼少期から包括的性教育を ④月262時間の職員残業は看過できず問題。改善を要求 ⑤米軍にも日本の検疫法を適用するよう政府に要求すべき
藤野英明 	①不妊治療への保険適用拡大後、逆に費用負担が激増してしまう方の為に本市独自の新たな助成制度を設けるべき ②相談支援を徹底する為に市役所の日曜開庁を継続すべき
小林伸行 	①財政について ②行政センターとコミュニティセンターの廃止について ③社会教育の市長部局一元化について
小室卓重 	①放課後子ども教室について ②スクールソーシャルワーカー、児童福祉司について ③一時預かりについて

令和3年12月臨時議会・令和4年1月臨時議会・3月定例議会

審議結果

○=賛成、×=反対

賛否が分かれた議案	会 派				無会派					
	民主 自由 党	未来 よこ すか 会議	公明 党	共産 日本 党	木下 義裕	小林 伸行	小室 卓重	杉田 惺	はまの まさ ひろ	藤野 英明
	12人	12人	7人	3人						
令和3年度横須賀市一般会計補正予算(第15号)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
令和3年度横須賀市特別会計公債管理費補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
漁港区域内駐車場の指定管理者の指定期間の変更について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
久里浜1丁目公園グラウンドほか整備工事(その1)請負契約の変更契約締結について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
久里浜1丁目第2公園整備工事請負契約の変更契約締結について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
市立学校設置条例中改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和4年度横須賀市一般会計予算	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×
令和4年度横須賀市特別会計国民健康保険費予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
令和4年度横須賀市特別会計介護保険費予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
令和4年度横須賀市特別会計後期高齢者医療費予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
令和4年度横須賀市水道事業会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
令和4年度横須賀市下水道事業会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
令和4年度横須賀市病院事業会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
職員定数条例中改正について	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×
横須賀市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例中改正について	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×
産業交流プラザ条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
勤労福祉会館条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
体育会館条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
指定管理者選考委員会等条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
コミュニティセンター条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
青少年の家条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
総合福祉会館条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
老人デイサービスセンター条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
老人福祉センター条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
保健所条例等中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
生涯学習センター条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
自転車等の放置防止に関する条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
都市公園条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
有料広場条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
横須賀港港湾施設使用条例中改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
横須賀市基本構想の改訂及び横須賀市基本計画の策定について	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○
猿島公園トイレ新築工事請負契約の変更契約締結について	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×
横須賀市子どもの権利を守る条例制定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

※その他議案30件については、全会一致で可決しました。詳細は市議会ホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。
※議長は、議事を取り仕切る立場から、採決には加わりません。

陳情

件 名	結 果
中華人民共和国による人権侵害問題の解決を促し必要措置を講ずることを求める意見書の提出について	趣旨不了承

意見書・決議

件 名	結 果
虐待被害等により単身生活を余儀なくされた生活困窮大学生等の支援制度の創設を求める意見書の提出について	可決 (全会一致)
ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議の提出について	可決 (賛成多数)

会派所属議員名 令和4年3月24日現在

- 自由民主党 加藤眞道 南まさみ 青木哲正 青木秀介 田辺昭人
松岡和行 大野忠之(議長) 渡辺光一 西郷宗範
山本けんじゅ 田中洋次郎 大貫次郎
- よこすか未来会議 永井真人 高橋英昭 伊関功滋 小幡沙央里
加藤ゆうすけ 嘉山淳平 工藤昭四郎 竹岡 力 角井 基
長谷川昇 葉山なおし 堀りょういち
- 公 明 党 板橋 衛 土田弘之宣 石山 満 関沢敏行 本石篤志
二見英一 川本 伸
- 日 本 共 産 党 大村洋子 ねざしかずこ 井坂 直

令和4年6月定例議会の予定

開催日	会議名
6月7日(火)	議会運営委員会
6月8日(水)	本会議、予算決算常任委員会(本会議終了後)
6月13日(月)	民生常任委員会(分科会) 都市整備常任委員会(分科会)
6月15日(水)	総務常任委員会(分科会) 環境教育常任委員会(分科会)
6月20日(月)	特別委員会(設置された場合に開会)
6月22日(水)	予算決算理事会、予算決算常任委員会(11時)
6月24日(金)	議会運営委員会、本会議(14時)

6月9日(木)・14日(火)・16日(木)・21日(火)、23日(木)は予備日です。
インターネットで中継もご覧になれます。(本会議は手話通訳も同時に行っています。)
時間の記載がないものは10時開会。開会日時は変更される場合があります。
傍聴のご案内など最新の状況は市議会HPか議事課でご確認ください。
常任委員会の名称及び所管の一部が変更になります。関連記事は3面に掲載。



編集後記

議員提出による「横須賀市子どもの権利を守る条例」が、3月定例議会にて可決、制定されました。昨今の子どもへの虐待が深刻な社会問題化している中、市議会としても横須賀の子どもたちを守っていききたいと思います。

編集：広報広聴会議(◎=委員長、○=副委員長)
◎小幡沙央里／○石山 満／大貫次郎／渡辺光一／田辺昭人／竹岡 力／堀りょういち／高橋英昭／川本 伸／井坂 直／小林伸行